

原野谷学園新たな学園づくり保護者説明会

平成30年5月19日

掛川市教育委員会教育政策室

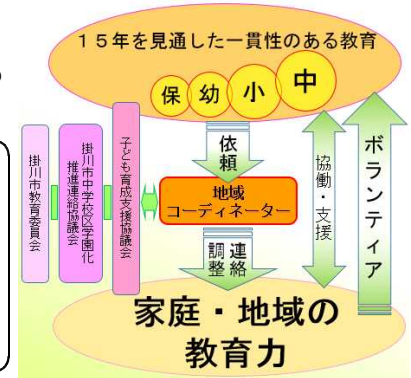
1 中学校区学園化構想

(1) 中学校区学園化構想について

- 各中学校区の園、学校が連携して子どもの教育にあたる
- 園、学校支援ボランティアの支援による教育活動

学校・家庭・地域が連携して子どもを育む教育を推進

- 小中の交流を深める
- 小小の交流を深める
- 教職員の連携を深める
- 学校・家庭・地域の連携



(2) 世の中の動き

- 情報化…プログラミング教育、授業の変化等
- 国際化…外国語科、外国語活動
- 人口問題…少子化

ア 良い点

- 個々への指導支援の充実（行き届いた教育）
- 教師と子ども、子ども同士の間関係が密になる
- 異学年のつながりが増える

イ 問題点

- 人間関係が固定化
 - 自然の競い合いや切磋琢磨の機会の減少
 - 活力やたくましさの低下
- 単学級…クラス替え→年度初めのリセット
- 様々な人や考えを知ることが難しくなる→社会性の育成

(3) 原野谷学園は？

- 全ての学校の子どもの数が減っている
- 小中学校共に減少率は40数%

【まとめ】

- 社会の変化に伴い、学校も変化
- 少子高齢化→人口減少が問題
- 小中学校とも同じような減少傾向
- 数十年後のイメージ
 - 運動会…徒競走、紅白、一日
 - 教員も少人数化 学校の維持管理
 - PTA、経済、地域、子ども、施設 等 多面的な考察

2 小中一貫教育の推進

(1) 小中連携教育

小・中学校が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す教育

(2) 小中一貫教育

小・中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的に行う教育

(3) 小中一貫教育の良さ

ア 学習面 ・学習規律、生活規律の定着 ・学習習慣の定着 ・学習意欲の向上

イ 生徒指導面 ・進学に不安を抱える児童の減少 ・中1ギャップの緩和

ウ 教職員 ・小中共通実践の取組 ・教職員間の協力

エ 9年間を見通した指導

- ・【学習指導】 ・教職員の専門性を生かした授業
- ・【生徒指導】 ・校種を超えた教職員での子どもたちへの関わり
- ・【教職員】 ・教職員間の研修体制

3 小中一貫教育を推進するための学校施設等について

(1) 学校施設形態

- ・施設一体型…同一校内に小中学校全学年がある
組織・運営→一体的に一貫教育を行う
- ・施設隣接型…隣接する小中学校で、教育目標、教育課程に一貫性を持たせる
学校行事の合同実施等、一体感のある教育活動を行う
- ・施設分離型…離れた場所にある小中学校で、教育目標、教育課程に一貫性を持たせる
小中学校が連携しながら教育活動を実施

(2) 校舎について

- ・原野谷学園の校舎の老朽化
 - 分離型の学校で進めるならば
 - 一体型の学校で進めるならば



【小中一貫教育を推進する学校施設等 まとめ】

- ・学園化構想を生かした小中一貫教育の推進
- ・多様な施設形態
- ・校舎の老朽化
- ・校舎の建て替え→多額の費用
- ・原野谷学園の子どもたちにとってよりよい教育環境を選択する必要がある

— 保護者説明会について —

- | | | |
|----------|--------|--------------------------|
| 5/1 (火) | 11:00~ | こども広場あんり保護者説明会【こども広場あんり】 |
| 5/2 (水) | 19:00~ | こども広場あんり保護者説明会【こども広場あんり】 |
| 5/19 (土) | 13:30~ | 原谷小学校区保護者説明会【原谷学習センター】 |
| 5/19 (土) | 19:00~ | 原田小学校区保護者説明会【原田学習センター】 |